

板橋区立赤塚第二中学校 学校だより <第1号>



教育目標「立志・鍛錬・協調」

芙蓉

令和8年4月 8日

校長 木村 知広

〒175-0094

板橋区成増 3-18-1

TEL (3939) 0247

令和8年度開始

校長 木村知広

新しい教職員を迎えて、新年度がスタートします。今年度も、生徒の「自律・自立」を最上位目標に掲げるとともに、「協働」を大切にしながら主体的・対話的で深い学びの実現を目指した教育活動の充実を図って参ります。さらに、今まで培ってきた伝統と校風を大切に、これからの赤塚第二中学校が、より一層生徒・保護者・地域の皆様にとって、また教職員にとっても、よりよい学び舎となるよう、生徒の可能性を伸ばす教育活動を全力かつ心を込めて取り組んで参ります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

また、今年度も、校務のデジタル化推進をより一層図って参ります。「学校から家庭への連絡」及び「家庭から学校へ連絡」等について、「すぐーる」や「Google フォーム」、「赤塚第二中学校ホームページ」等を積極的に活用して参りますので、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。



本校HP

★学びのエリアのめざす子ども像

【自律】自ら学び、考え、判断し、責任をもって行動する児童・生徒

【協働】あらゆる他者を尊重し、思いやりと感謝の心をもって協働する児童・生徒

★赤塚第二中学校の教育目標

「立志」自ら志を立て、自ら考え判断し行動することのできる生徒を育てる

「鍛錬」心身ともに健康で、努力を惜しまず、切磋琢磨し合う生徒を育てる

「協調」規範意識を身に付け、他を思いやりながら協力し合う生徒を育てる

★学校づくりの基本的な考え

これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現するとともに、明るい未来を共に創っていくことができるよう、生徒の「未来を切り拓く確かな力と豊かな人間性」を育てます。

1 目指す学校像

…生徒の可能性を最大限に引き出す魅力的な教育活動を通じて、次の学校像を実現する。

- ① 豊かな人生を自律的に切り拓くための確かな力を身につける学校
- ② 多様な人々と協働して社会を創るための豊かな人間性を身につける学校
- ③ 安心して学び、生き生きと活躍することができる学校

2 目指す生徒像

…知徳体のバランスのとれた力を兼ね備えた、次の生徒像を実現する。

- ① 心身とも健康で、自ら学び、考え、判断し、責任をもって行動する生徒
- ② あらゆる他者を尊重し、思いやりと感謝の心をもって協働する生徒
- ③ 目標実現と課題解決に向けて、粘り強く創意工夫する生徒

3 目指す教師像

…教育公務員としての自覚と責任をもった職務遂行を通して、次の教師像を実現する。

- ① 生徒の良さを発見する眼、受け止める心、語り合える言葉を大切にする教師
- ② 互いの健康と心を大切に協働し、互いの指導力を磨き合う教師
- ③ 教育施策や社会の変化等を前向きに受け止め、誠実に対応する教師



令和8年度 目標を実現するために大切にしてほしいこと

☆自分の可能性を伸ばし、目標を実現するために大切なこと

目標実現に向けて努力することは、自身の可能性を伸ばすとともに、豊かな人生を切り拓く確かな力と豊かな人間性も身につけ、さらに、自分自身に自信がもてるようになることにもつながります。そのため、まずは、1年間のより具体的な目標を立てることから始めてください。

また、自らが立てた目標を実現するためには、「**自立（自分のことは自分でやること）**」と「**自律（自分の心と言動をコントロールすること）**」を確立することが重要です。具体的には、本校の伝統である「**集団美**」「**安心・安全**」という考え方を大切に、学校生活を送ることはもちろん、特に次の4点を大切に日々過ごして欲しいと思います。

○自分のことは自分でやること（人のせいにしない）

○目標を常に見据え、自ら学び・考え・判断し・責任をもって行動すること

○自らの言動を常に振り返り、自分を信じ、ねばり強く挑戦を続けること

○違いを認める心、思いやりの心、感謝の心をもって、多様な人と協働すること

自分の目標を実現させるためには、自分自身の努力が何よりも重要です。特に、自分の弱さを克服し、ねばり強く創意工夫しながら取り組むことが大切になってきます。

また、人は一人では生きていけませんので、自分が困難なときに助けてくれる仲間や共に努力してくれる仲間、切磋琢磨してくれる仲間が必要です。こうした仲間と絆を深め、よりよい人間関係を築くためにも、人とのつながりを大切に「**協働**」することが重要となってきます。

新学期がスタートする今、今の自分の姿を見つめた上で、一年後どのような姿になりたいか、改めて思い描くとともに、学習面、生活面などの目標を実現するために、より具体的な計画を定めてください。そして、令和8年度は、「自分のことは自分でやること（自立）」、「自分の心と言動をコントロールすること（自律）」、「個性を活かしながら団結し、協力すること（協働）」を大切に、目標実現に向けて、あきらめず、ねばり強く、挑戦し続けていきましょう。皆さんの頑張りを期待しています。

「人にとって最も恐ろしいのは、惰性で日を送ることである。向上心があれば、飽きることがない。

仕事・生活の中に向上の道を残さなければならない。向上を求めねばならない。」

第一次南極越冬隊隊長 西堀 栄三郎

目標の実現に向けてのステップ

【ステップ1】今の自分を見つめてみてください。

○自分の好きなこと・ものは何ですか ○得意なこと・ものは何ですか

○頑張っていることは何ですか ○自分のよいところ・長所は何ですか(自己PRです)

○将来どのようになりたいですか。それを実現するためには、どんな力をつけていかなければならないと思いますか

【ステップ2】ステップ1で考えた自分の現状を踏まえ、目標と、それを一年後実現するために取り組むことを考えてください。

○学習面の目標は何ですか

→ 一年後、実現するために取り組まなければならないことは、具体的に何ですか（計画）

○生活面の目標は何ですか

→ 一年後、実現するために取り組まなければならないことは、具体的に何ですか（計画）

○部活動や地域活動、習い事、資格取得などの目標は何ですか

→ 一年後、実現するために取り組まなければならないことは、具体的に何ですか（計画）

○その他の実現させたい目標は何ですか

→ 一年後、実現するために取り組まなければならないことは、具体的に何ですか（計画）

【ステップ3】1ヶ月後、3ヶ月後等、定期的に理想とする自分の姿に近づけたかどうかを振り返るとともに、必要に応じてステップ2の計画を変更・修正する。

進級おめでとうございます。
目標実現に向けて頑張る一年にしていきましょう。

目標を実現するために大切にすること！

自律



目標を常に見据え、自ら学び・考え・判断し・責任をもって行動すること

自らの言動を常に振り返り、自分を信じ、ねばり強く挑戦を続けること

違いを認める心、思いやりの心、感謝の心をもって、多様な人と協働すること

自立

自分のことは自分でやること

(人のせいにならない)

協働



目標実現に向けて、個性を活かしながら団結し、協力すること

幸せの4因子



やってみよう

夢や目標 やりがいを持って、「本当になりたい自分」をめざして成長していくとき、人間は幸せを感じる。

ありがとう

多様な人とつながり を持ち、人を喜ばせたり、人に親切にしたり、感謝したりすることが幸せをもたらす。

なんとかなる

いつも前向き で、自己受容ができており、「何とかかなるだろう」と感じる楽観的な人は、幸せになりやすい。

ありのまま

人目を気にせず、**自分らしく生きていける**人は、そうでない人と比べて幸福感を覚えやすい傾向がある。

